

令和2年度 近江八幡市下水道事業キャッシュ・フロー計算書  
(令和2年4月1日から令和3年3月31日)

1. 業務活動によるキャッシュ・フロー	(単位：円)
当年度純利益	35,459,392
減価償却費	1,231,955,331
資産減耗費	872
退職給付引当金の増減額（△は減少）	2,947,380
賞与等引当金の増減額（△は減少）	△ 392,727
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△ 756,700
長期前受金戻入額	△ 532,268,638
受取利息及び配当金	△ 31,095
支払利息及び企業債取扱諸費	263,793,730
営業及び営業外未収金増減額（△は増加）	△ 3,517,773
営業及び営業外未払金増減額（△は減少）	9,076,443
前払金増減額（△は増加）	0
前受金増減額（△は減少）	0
その他流動資産の増減額（△は増加）	0
その他流動負債の増減額（△は減少）	0
小計	1,006,266,215
受取利息及び配当金	31,095
支払利息及び企業債取扱諸費	△ 263,793,730
業務活動によるキャッシュ・フロー	742,503,580
2. 投資活動によるキャッシュ・フロー	
固定資産取得・建設改良事業等支出額	△ 112,064,752
国県補助金による収入	20,785,273
工事負担金等による収入	5,251,605
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 86,027,874
3. 財務活動によるキャッシュ・フロー	
建設改良等の財源に充てるための企業債による収入	672,300,000
建設改良等の財源に充てるための企業債償還による支出	△ 1,926,406,206
出資金の受入額	627,311,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 626,795,206
現金預金の増減額（△は減少）	29,680,500
現金預金の期首残高	180,563,937
現金預金の期末残高	210,244,437

◎ 重要な非資金取引の内容

当事業年度に新たに受贈財産に係る資産及び負債の額は、それぞれ166,533,200円とする。